



本村幼稚園 12月の園だより

令和元年11月29日

港区立本村幼稚園長

山村 登洋

師走でも子供たちは元気百倍で活躍します

園長 山村 登洋

師

が走り回るぐらい忙しい師走。2学期も早いもので残り1ヶ月となりました。

12月に入りますと、子供たちも令和元年の最後の大行事「展覧会」が12月6日(金)、7日(土)に開催されます。今年もりす組、はと組の子供たちの力作が目白押しです。特に年長はと組は全員が力を合わせて作成した共同制作

「宇宙ワールド」が展示されます。また、子供たちの一つ一つの作品には、そのお子さんの夢や希望が表現されています。作品からその子供たちの気持ちをぜひ読み取って

いただきたいと思います。展覧会の2日間はいつもの幼稚園が美術館に大変身します。どうぞ、楽しみにしててください。大勢の皆様のご来園をお待ちしております。



子供の成長のまとめ(2学期編)

【はと組】

①個から集団への意識が高まりました。

- ・1学期から徐々に芽生えてきた集団意識が2学期に開花したと思います。普段の「遊び」の中での学びや園行事が大きな役割を果たしています。「遊び」では、子供個人も大切にしながら学級全員で遊ぶ内容が増えました。運動でドッジボールを取り入れ、特に意識変化が大きかったのは、親子運動会での「リレー」です。毎回毎回チームで話し合い、出走順を子供たち自ら話し合ったり、実際に試したりと集団としての役割を学びました。

②語彙力の向上が素晴らしい。

- ・年長のこの時期となると、子供たちの語彙力が急激に向上します。1学期当初は発することのなかった単語や言い回しなどが、今は会話の中で飛び交っています。十分大人と会話ができるレベルにあります。日常での会話やテレビ、絵本等の影響が大きいです。これから小学校へ進学するためには、大変よいことです。言葉は人間のみの特殊な機能であり、コミュニケーションのベースとなるものです。

【りす組】

①先が器用になりました。

- ・はさみが上手に使える(形を切り抜く)、ボタンのかけはずしができることなど、この8カ月間でおおきな成長を感じます。

②知能と言語が発達しました。

- ・「過去」「現在」「未来」を意識して話すことができる、言語が増えて周りの子供たちと自然に会話をするようになる、大きい、小さいの比較の理解が進み言語化できるようになってきました。このような発達が年長への成長への基盤となっていきます。

日本語の習得



師走の12月でも子供たちは、日常の園生活はもちろんのこと、展覧会、餅つき会、誕生会、終業式と元気百倍で2学期の最後の月を過ごしていきたいと思っています。